

社協だより

令和2年2月1日

第188号

編集

社会福祉法人

江南市社会福祉協議会

江南市古知野町宮裏121番地

(老人福祉センター内)

TEL・FAX(0587) 55-5262

地域の支え合い活動を 生活支援コーディネーターが お手伝いします!

例えば、
こんなお手伝い

ちょっとした
困りごとに対する
支援があったらな

私にもできる
活動ってないかしら

気軽に集まれる
居場所が
つくれたらな



地域の居場所
づくり支援

地域のつながり
づくり支援

地域の取り組み
紹介

江南市社会福祉協議会では、市より委託を受け、平成29年4月から生活支援体制整備事業における「生活支援コーディネーター」を3名配置しています。

地域の「あったらいいな」の実現、「ちよつと困つた」の解消を指した取り組みを進めています。

今号では生活支援コーディネーターが関わつた活動について紹介していきます。

おもな内容

- わが町の生活支援コーディネーターが行く 2,3ページ
- こうなん福祉フェア 4ページ
- こうなん福祉フェア参加事業所の紹介 5ページ
- 社協掲示板 6,7ページ
- 義援金報告、福祉クイズ、寄付 8ページ

前飛保町のショッピングセンター「ピナ店」で開催される

「マツオカピナサロン」編



素敵な活動のきっかけ

居場所
づくり支援の
ご紹介



お店のお客さんで
気になる人の存在



生活支援
コーディネーター



生活支援
コーディネーター
の関り

- 居場所運営の仕組みづくり
- 周知、啓発活動(チラシなど)
- 活動団体や専門職

ピナ店のお客さんの中には、身体が不自由な方や、同じものを必要以上に購入してしまう方がいるとのこと。

大切な地域のお客さんだからこそ、お店としても介護予防ができる居場所が作れないかと模索していました。

ピナ店の各お店が
居場所づくりに前向き



喫茶店として、何かできんかな

コーヒーを準備してほしいな

タキデンキ(電気屋)やマツオカ(衣料品店)、喫茶店など、各お店の得意な分野で居場所活動に協力することができる体制でした。



地域には近所づき合い、支え合い活動、伝統行事など様々な取り組みがされています。市民や関係団体の方々と一緒に地域の支え合い活動を行う「生活支援コーディネーター」が、地域で取り組まれている素敵な活動を紹介します。

(第5回 居場所づくり支援・地域の広報支援編)

わが町の生活支援コーディネーターが行く

「気になる人の存在」「居場所の必要性」「お店の強みを発揮」=「マツオカピナサロン」

誰もが参加できる居場所が誕生しました!

「お店のお客さんで気になる人の存在」からお客さんの居場所の必要性を感じ、居場所づくりに前向きな、ピナ店内のマツオカ、タキデンキと生活支援コーディネーターが中心となり、前飛保町にあるピナ店2階タキデンキのスペースにて「マツオカピナサロン」を立ち上げました。

活動内容は、健康体操や落語、介護予防のお話など、毎月異なる企画で実施しています。茶話会では、1階の喫茶店からコーヒーを注文することができ、喫茶店のコーヒーが飲めるのも特徴です。また、ピナ店には、フィットネスジムやドローン製作スペースなどがあり、各お店とも協力しながら活動を進めています。



▲介護や認知症予防の講話や体操を実施中

【活動日】原則、毎月第1水曜日 午前10時~11時30分

【場 所】ピナ店2階タキデンキのスペース
(前飛保町河原33ピナ2階)

【参加費】300円(コーヒーとお菓子付き)



※詳しい内容のお問い合わせ先
江南市社会福祉協議会(0587-55-5262)

南山町で活動する

「南山青年団」の紹介編

地域の
取り組みを
ご紹介



「南山青年団」とは、南山町の住民が誰でも自由に参加できる任意グループです。地域の方々が仲良く、安心して住みやすい地域を作っていけるよう、今できることを真剣に考え、楽しみながら活動しています。

CHECK!

素敵な活動のきっかけ

南山青年団は「チーム南山」として、4年前から江南市民駅伝大会に参加していました。駅伝や南山の祭りで顔を合わせるうちに、地域に対する思いが強くなり、自分たちで何か地域の為にできることはないかと考えるようになりました。

子ども達にとってはここ南山が故郷になるので、この地域を良くしたいね!

地域の為に何かできないかなあ...

世代問わず参加できる活動を考えたいね

気楽に集まれる機会を作りたい!

昔のような地域の繋がりを再現できないかなあ。

地域の行事や集まる機会って少なくなったね。

住民同士が支え合える地域にしたい

地域のみんで支え合える関係になるには、何よりもまず顔の見える関係を作ることが大切!とメンバー間で意見が一致。「地域のみんが仲良くなる」ことを一番の目的に掲げ、防災訓練が行われる日に予定を合わせて『炊き出し訓練』を行うことを計画しました。

まずは顔が見える関係が必要だよ

炊き出し訓練
やってみよ

炊き出し訓練に
向けて準備



みんなが支えあうには仲良くなるのが大切だよ

- 地区役員の方に説明会を実施
- 地区の回覧を活用して活動周知
- 子ども会への協力呼びかけ
- 公民館に保管されている防災備蓄確認



- 江南市 防災安全課への協力依頼 (出前講座・はそり(大鍋)の貸し出し・アルファ米の提供)
- 地元新聞社、生活支援コーディネーターの取材、周知依頼

地域のみんが仲良くなる『コミュニティ』づくりに向けて! ～炊き出し訓練&親睦会の開催～

生活支援コーディネーターの一言

南山青年団の取り組みは、炊き出し訓練や親睦会をきっかけに地域のみんが仲良くなることを目的に開催していました。

はそりを使って豚汁をつくり、子どもから大人まで多くの方にふるまい、地域で顔の見える関係づくりを進めていました。

多くの方を巻き込みながら、地域づくりを進めていくことが大切だと感じました。



みんなで集まって食べると話も盛り上がるわね♪

子ども達もたくさん参加してくれて嬉しいなあ♪



はそりを使って豚汁を作り、豚汁とアルファ米(ひじきご飯・きのこご飯)のはそりで100人分の豚汁を作りました。試食会をしました。

江南市役所防災安全課の協力で講演会とビデオ上映会を行いました。



災害が起きた時こそ地域の支え合いが大切だね

障害者の“地域ではたらく”を考える



こうなん福祉フェア2020

「障害者のはたらくこと・せいかつをすること」をテーマにした講演会と、地元の障害福祉サービス事業所の相談会を開催します。誰でも無料で参加できますので、お気軽にお越しください。

日時

2/24 (月・祝)
13:00~16:30

会場

すいとぴあ江南
(多目的ホール)
江南市草井町西200

ハローワーク犬山
参加決定!

内 容

第一部 講演会

13:00~14:00
(12:30開場)

テーマ
「地域のなかで
はたらくこと
せいかつすること」



社会福祉法人 養楽福祉会
尾張北部障害者就業・生活支援センターようわ

センター長 田代 波広 氏

(略歴)

平成7年に社会福祉法人養楽福祉会に入社。施設入所支援スタッフ、レスパイト、居宅介護等のサービス提供責任者、春日井市相談支援事業相談員、愛知県障害者支援体制整備事業地域アドバイザー、愛知県相談支援従事者研修主任講師を経て、現在は尾張北部障害者就業・生活支援センターでセンター長。

精神保健福祉士、県認定発達障害支援指導者

■対象者 誰でも参加可 ■参加費 無料 ■申込み 不要

第二部 事業所説明 &相談会

14:00~16:30



各事業所による
物資販売も
あります

◆前回のこうなん福祉フェアの様子



地元から
16法人20事業所(※)が出展

尚、講演会開催中は、事業所説明&相談会は開催されていませんので、ご注意ください。

※当日出展する事業所については5ページを参照してください。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

こうなん福祉フェア2020



URL:<http://konan-fukushi-fair.jp.org/>

主 催 こうなん福祉フェア実行委員会

問合先 こうなん福祉フェア実行委員会事務局

(有)シルバーネット内 電話 0587-53-4626

後 援 江南市、江南市教育委員会、江南市社会福祉協議会